

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
入館者数	人	78,000	65,980

未達成の要因と分析	<p>【要因】①学校関係 ②学校以外 ③その他（外的要因）</p> <p>【分析】</p> <p>①学校関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の平和研修の機会の減少によるピースおおさかの知名度の低下。 ・教育関係権限を移譲された中核市は、教員研修等を市内で実施する傾向がある。 ・カリキュラムの増加により、校外学習の時間が奪われている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2月及び3月に予約されていた23校（3477人）がキャンセルとなった。 <p>②学校以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数については企画事業等の効果もあり、1月末時点(※)の段階では前年度より2,325人増（+3.9%）となったが、即効性のある事業展開が十分でなかった。 ・訪日韓国人観光客の減少により、韓国人の来館者数が前年度より681名減（-68.9%）となった。 <p>※2・3月は新型コロナウイルスの影響のため、1月末時点とする。</p> <p>③その他（外的要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風による8月15日の終戦の日平和祈念事業の中止。 ・新型コロナウイルス感染症による2月29日からの臨時休館。
------------------	--

今後の改善方策	<p>①学校関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会や校長会等へのPRの継続 ・ピースおおさかの講堂・会議室等の利用促進 ・教員向けアンケートによる改善点の見直し ・府外の来館してくれた学校関係へのPR ・旅行会社との連携 ・夏休みなど校外学習の無い期間における小中学生の催しの充実 <p>②学校以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展・平和祈念事業等の企画事業の充実 ・日本平和博物館会議やユニセフ・ユネスコ等の連携強化 ・特に外国人観光客向けとして、無料wi-fiの稼働 ・旅行会社や大阪観光ボランティア協会との連携により、大阪城公園を訪れる訪日外国人の誘客に努める。
----------------	---

■ 目標値未達成の要因について

〔2〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
貸出資料利用人数	人	142,000	110,812

未達成の要因と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・大口の利用人数の自治体・学校などの利用が減少 ・貸出先利用件数の減少（H30：378件 → R1：363件）
------------------	--

今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・来館が困難な学校に向けた貸出資料のPR ・貸出利用が夏に集中することもあり、貸出資料を増やして対応 ・貸出先により人数が左右される側面もあることから、件数を目標として増加に取り組む。
----------------	--

〔3〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
平和寄附金収入	千円	1,155	1,059

未達成の要因と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・台風による8月15日の終戦記念日の平和祈念事業の中止 ・新型コロナウイルスによる臨時閉館（2月29日～）による影響 ・個人の篤志家からの大口寄附が減少
------------------	--

今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・企画事業において広く寄附を呼びかける。 ・税の優遇措置のPR（継続）
----------------	--

■ 目標値未達成の要因について

〔4〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
入館者1人当たりの事業 費	千円	1.1	1.3

未達成の要因と分析	<ul style="list-style-type: none">・入館者数が目標に未達成となった。・職務用のパソコン等の更新や図書整理にかかる費用が増加。
今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none">・光熱水費や消耗品等のコスト抑制に努める。